



福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011
 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com



<http://www.f-rotary.com/>

本日のプログラム	●地区セミナー報告	クラブ奉仕セミナー報告	米山記念奨学会セミナー報告
	●クラブ協議会	森岡幸江 会長エレクト	菅野裕一 幹事

会長あいさつ

第9回会長挨拶

古侯 猛 会長



本日は今月 29 日に行われる、ガバナー公式訪問前のクラブ協議会開催となっております。

本年度のクラブのプログラム、そして各委員会活動もしくは会員教育について再度確認検討をしていただき、ガバナー公式訪問に対して、万全の準備をしていただくようお願いします。また当日、委員長欠席の場合は必ず副委員長の出席をお願いします。今回は公式訪問の前の週には地区大会もございます。地区大会においては、RI 現況報告、地区現況報告等々がなされます。今月はそういう意味で、まさにロータリー、一色の月でありますので、ロータリーを深く理解できる良いチャンスだと思います。地区大会、ガバナー公式訪問、多くの会員の皆様出席方宜しくお願い申し上げます。

前にも申し上げましたが、当クラブは 2018-19 年度にはガバナー補佐を輩出することとなっております。さらには 2019-20 年度のガバナー候補者を推薦出来ることとなっております。理事会においても議題として取り上げ、粛々と検討協議を進めて参りたいと思います。ちなみにガバナーになるための基本的な資格として、就任の時点で一つまたは複数のクラブで通算 7 年以上の会員で、クラブ会長を全期務めた者、そしてガバナー補佐になるための資格としては、少なくとも 3 年間以上の会員でクラブ会長を全期務めた者となっております。意外に経験年数に重きをおかず、ご本人の能力や人格によるものであるよう感じた次第であります。

話しは変わりますが、来週、小原会員の東稜高等学校の修学旅行が行われ、台湾に行かれます。その際に東稜高校のインターアクトクラブ会員と、台北文湖ロータリークラブのインターアクトクラブ会員(中学生)との交流会が小原会員のご厚意によりまして開催される予定であります。これによりまして両国の青少年の成長を願うとともに、今後互いに深い友情を築いていくことを期待しながら、今日の会長あいさつとします。

例会次第

開会点鐘 古侯 猛 会長

ロータリーソング

「それでこそロータリー」

ソングリーダー 安藤健次郎 会員

「四つのテスト」唱和

佐藤豪一 会員

会長あいさつ

古侯 猛 会長

感謝状の伝達

米山記念奨学会より感謝状

加藤義朋 会員

食事

幹事報告

菅野裕一 幹事

各委員会報告

●プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX

氏川守義 委員長

◎本日のプログラム

閉会点鐘

古侯 猛 会長



例会プログラムのご案内

9月22日(木) 祝日の週のため休会

9月29日(木)

辰巳屋

佐久間英一ガバナー公式訪問例会

◎会長・幹事会/9:30 ◎クラブ協議会/10:30 ◎例会/12:30

10月6日(木)

辰巳屋

新会員スピーチ

JRA 福島競馬場長 勝見浩二 会員

10月7日(木)

二本松御苑

県北第一分区ガバナー歓迎晩餐会 18:30 ~

幹事報告

例会変更のお知らせ

●次週の市内クラブ例会は地区大会に振り替えとしているクラブが多数ですのでメークアップの場合はお問い合わせ下さい。

その他のお知らせ

●25日(日)ユラックス熱海にて開催されます地区大会参加者各位に再度ご案内をしております。ご確認の上、宜しくお願い申し上げます。

●クラブ年次計画書・報告書配布しております。ご確認の上、ガバナー公式訪問クラブ協議会ご出席の方は、ご持参下さいませようお願い致します。

クラブ奉仕セミナー報告

森岡幸江 会長エレクト



さる8月20日、郡山ユラックス熱海にて、「クラブ奉仕委員会セミナー」が開催されました。坪井地区委員、古俣会長、浦部副会長が出席しました。

渡邊公平パストガバナーの基調講演の後、箭内一典会員増強委員長より、会員増強に関する現況報告がありました。今年度の地区活動目標は

○会員増強—地区目標：純増80名

クラブ目標 会員数50名以下は1名以上、51人以上は2名以上

○会員維持率—地区目標：前年度に比べ1%以上あげる。

クラブ目標：前年度に比べて1%以上上げる。
または100%維持。クラブ会員出席率85%以上です。2530地区の入退会状況によると

○ここ数年、年間に190名前後が退会

○年間の退会率は7%強。退会者の多い月は12月、3月、6月

○特に6月の退会者が際立っている。(1年の退会者の4割近く)

現在、2,530地区の会員の半分以上が60歳以上であり、若い会員を増やさなかったら、10年後20年後は、高齢化、会員減少により、ロータリーは有効な活動が出来なくなると懸念されます。具体的には会員減少が進むと

○財政基盤が脆弱になる

○行動できる人が少なくなり、活動が消極的になる

○各クラブの影響力が低下し、有意義な活動を困難にする

○ロータリーの公共イメージと認知度が弱まる

ということです。そこで世界のロータリーに目を向けると男性会員と女性会員の比率は80%対20%、2530地区においては94%対6%、会員の雇用状況は世界は常勤の方70%、非常勤、退職、休職中、その他が30%、2530地区は93%対7%であり、女性会員、退職したシニア会員の増強も有効と思われれます。

終わりに地区内クラブより発表がありました。福島南、いわき勿来、矢吹、郡山南、会津若松中央の5クラブです。興味深かったのは福島南クラブの分析で、統計

によると福島は就業人数416人に1人がロータリアンで、全国2位の高さです。ちなみに206人に1人がロータリアンかライオンズメンバーとなるそうで、奉仕活動への意識の高さが見られます。

各クラブとも、高齢化の懸念、退会者の防止のための方策を掲げています。クラブ内で派閥を作らない、入会した方にはカウンセラーをつけ仲間を大切にす、フォローとケアを図る、レターボックスに会報が溜まっている人には訪問する等の取り組みをすすめ、退会防止と会員増強を図っています。

米山記念奨学会委員会セミナー報告

菅野裕一 幹事



さる8月27日、郡山にて開催されました地区米山記念奨学会委員会セミナーに参加してまいりました。冒頭に加藤義朋委員長より、米山記念奨学会の事業に理解を深めていただき、引き続き会員の皆様に寄付を賜りたいという話がありました。

という話がありました。

公益財団法人米山記念奨学会は、勉強、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支援する民間の団体であります。将来母国と日本の懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。ここで優秀とは、①学業に対する熱意や優秀性はもちろんのこと②異文化理解③コミュニケーション能力への意欲や能力に優れている点が含まれます。米山奨学生はロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人になることが期待されます。

次に、米山記念奨学会の財源ですが、ロータリークラブ会員の皆様の寄付金で成り立っています。寄付金には普通寄付金と特別寄付金があり、普通寄付金とは、日本のロータリークラブ会員からの定期寄付金で、定款に基づき、クラブで決定した金額の会員数分が半月に一度、クラブを通じて納入されています。特別寄付金とは、個人、法人またはロータリークラブから普通寄付金以外に任意で寄付されるもので、額も時期も問わないものです。

福島ロータリークラブとしては、寄付金は年間一人あたり15,000円以上を目標とし、皆様から会費として、普通寄付金に年間5,000円、特別寄付金に5,000円、合計10,000円をお預かりさせていただいています。また、毎例会時に会場内において特別寄付金を募らせていただいております。福島ロータリークラブの昨年実績は、普通寄付金が約45万円、特別寄付金が約120万円となっています。

皆様の寄付金により、会全体の年間の奨学生採用数は約700数十名。事業費は約12億円。国内では民間最大の国際奨学事業となっております。またこれまで支援してきた奨学生数は累計で約19,000名、その出身国は世界123の国と地域に及んでいます。各地区あたり奨学生を何人採用できるかは、地区の寄付額の全国比により決定されます。奨学生の選考方法は地区が指定する大学、学校から米山奨学生にふさわしい学生を推薦してもらう指定校推薦制度、および海外の学友会からの推薦など地区独自の推薦制度が導入されています。これらの候補者を各地区のガバナーや米山理事、地区米山奨学委員長などで組織される地区選考委員会で

面接選考し米山奨学生を決定するということです。

特別寄付に対しては表彰制度があり、個人の累計額が10万円に達したとき、または一度に10万円もしくはそれ以上の特別寄付をされたときに第1回米山功労者として感謝状が贈られます。20万円で第2回米山功労者マルチプルとなり、1,000万円で第10回米山功労者メジャードナーとなり感謝状とピンバッジが送られます。米山奨学会への寄付金は、奨学会が「公益財団法人」として認定されているため税制上の優遇措置も受けられます。

最後になりますが、1952年に東京ロータリークラブが、日本ロータリークラブの創設者である米山梅吉氏の「米山」の名を冠とし、「米山基金」の構想を発表されたということです。なぜ留学生を支援するのかということですが、その背景には二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい、自分たちが世界の人々と友情を結ぶことができると証明したい、という当時のロータリアンたちの強い願いがあったということです。事業へのご理解を深めていただき、今後とも宜しくお願い申し上げます。

本日のプログラム②

クラブ協議会

各委員長は29日(木)のガバナー公式訪問時に向けて、クラブ協議会の内容(計画書参考)と出席者(発表者)の確認をしました。





表彰・伝達

●米山記念奨学会から感謝状
加藤義朋 会員へ

加藤義朋会員は、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の理事として米山事業に対し、格別の奉仕をされました。

この度の任期満了により退任となられましたので、小沢一彦理事長より感謝の意を表し、感謝状が届きましたので伝達致しました。



私のひとこと

内池 浩 会員



東京五輪 2020 の懸念

リオ五輪はテレビ実況で寝不足の毎日でしたが、日本の活躍で楽しく過ごせました。4年後には東京ですが、心配は酷暑です。52年前の東京五輪は

秋空のもとで開かれたのに、7月、8月の最も暑い時期に開催との事、大丈夫なのでしょう。聞けばオリンピックは欧米のテレビの巨額の放映権収入なしでは成り立たず、その番組編成の都合で最初から7-8月と決まっていたとの事。近年の東京は酷暑と多湿が厳しく、マラソンをはじめ、過酷な大会になるのではと懸念されます。東京五輪は「安全な日本」をキャッチフレーズに実現したわけで、これからの官民挙げての猛暑対策が求められることと思います。

ニコニコBOX報告 (報告)氏川守義 委員長

本日のニコニコBOX投入額 23件 ¥53,000 累計 ¥726,000

古俣 猛 会長

本日のクラブ協議会、宜しくお願ひ致します。

森岡会長エレクト、菅野幹事、セミナー報告宜しくお願ひ致します。

小原 敏 会員

来る9月20日に台湾文湖RCインターアクトクラブとの交流会の機会を与えて下さり感謝致します。

丹治正博 会員

このたび社社の境内に「あすなろの木」が完成致しました。このモニュメントは福島の子どもの成長を祈るため、「丈くらべ」の場所として整備致しました。七五三などお子さんの成長を記録する場所として新たな名所にしたいと思っております。

安藤 錬雄 会員

当社、安藤組は平成28年度県優良工事の表彰で受賞致しました。又、市の優良工事も受賞致しました。皆様のおかげでございます。

黒崎 浩一 会員

北海道新幹線は最近予約が取りにくくなっています。旅行、出張を計画されている方は早めに予約を!!

他クラブ会員より／安藤健次郎／氏川守義／佐藤美奈子／内池 浩／浦部 博／菅野裕一／児玉健夫／佐藤英典／白岩康夫／田沼紀美子／反後太郎／坪井大雄／轟丸直久／幡 研一／増子 勉／三木エリカ／森岡幸江／吉田大樹